

## 論文 (2016年)

著者名 太字は当センター職員を示す	タイトル	論文等投稿先
佐藤郁美・今井壮一・鳥居春己・ <b>荒木良太</b>	奈良県大台ヶ原産ニホンジカのルーメン内繊毛虫種構成	奈良教育大学自然環境教育センター紀要, 17: 19-24
Komine, H., Takeshita, K., Abe, S., Ishikawa, T., Kimura, M., <b>Hashimoto, T., Kitaura, K., Morosawa, T., Seki, K., Kaji, K.</b>	Relationships between capture-site characteristics and capture levels of the invasive mongoose on Amami-Oshima Island, Japan	Biological Invasions, 18: 487-495
末吉正尚・赤坂卓美・森 照貴・石山信雄・ <b>川本朋慶</b> ・竹川有哉・井上幹生・三橋弘宗・河口洋一・鬼倉徳雄・三宅 洋・片野 泉・中村太士	河川水辺の国勢調査を保全に活かす—データがもつ課題と研究例	保全生態学研究, 21(2): 167-180
鬼倉徳雄・ <b>川本朋慶</b> ・澤 海人・北川裕一・小山彰彦・大坪寛征・林 博徳・皆川朋子・島谷幸宏	外来魚の影響を加味した希少魚保全のための重要地選定法：菊池川周辺流域のタナゴ類	日本水産学会誌, 82(6): 945-947
Sakamoto, Y., <b>Mori, H.</b> , Ohnishi, H., <b>Imai, H.</b> , Kishimoto, T., <b>Toda, M.</b> , Kishi, S., Goka, K.	Surveys of the ant faunas at ports of Tokyo Bay and the Ogasawara Islands	Applied Entomology and Zoology, 51(4): 661-667
Uchida, S., <b>Mori, H.</b> , Kojima, T., Hayama, K., Sakairi, Y., Chiba, S.	Effects of an invasive ant on land snails in the Ogasawara Islands	Conservation Biology, 30(6): 1330-1337
<b>森 英章</b>	ふるさとの島の森を考える高校生	東京都立小笠原高等学校教育実践報告, 3: 63-68
<b>永野 裕</b> ・児嶋 翼・岸本年郎	【短報】グリーンアノールによるオガサワラタマムシの捕食例	さやばねニューシリーズ, 24: 35
<b>Niwa, S.</b> , Toyota, A., Kishimoto, T., Sasakawa, K., Abe, S., Chishima, T., Higa, M., Hiura, T., Homma, K., Hoshino, D., Ida, H., Kamata, N., Kaneko, Y., Kawanishi, M., Kobayashi, K., Kubota, K., Kuraji, K., Masaki, T., Niiyama, K., Noguchi, M., Nomiya, H., Saito, S., Sakimoto, M., Sakio, H., Sato, S., Shibata, M., Takashima, A., Tanaka, H., Tashiro, N., Tokuchi, N., Torikai, H., Yoshida, T.	Monitoring of the ground-dwelling beetle community and forest floor environment in 22 temperate forests across Japan	Ecological Research, 31: 607-608
Ohta, T., Matsunaga, S., <b>Niwa, S.</b> , Kawamura, K., Hiura, T.	Detritivore stoichiometric diversity alters litter processing efficiency in a freshwater ecosystem	Oikos, 125: 1162-1172

鈴木克哉・江成広斗・山端直人・清野紘典・宇野壮春・森光由樹・滝口正明	人とマカクザルの軌跡解消にむけた統合的アプローチを目指して	哺乳類科学, 56(2): 241-249
------------------------------------	-------------------------------	-----------------------

## 学会発表 (2016年)

発表者 <small>太字は当センター職員を示す</small>	タイトル	発表先
川本朋慶・鬼倉徳雄	九州北部 A 市に生息するニッポンバラタナゴの生息調査から試験導入までのプロセスと現状	平成 27 年度ミヤコタナゴ保全シンポジウム (ポスター発表)
<b>Kimura, T.</b> , Rengjil, G., Sam, K., Gouezo, M., Golbuu, Y.	PROTECTED AREAS NETWORK (PAN) – NATIONAL SYSTEM FOR THE PROTECTION OF THE CORAL REEF ECOSYSTEMS IN PALAU	第 13 回国際サンゴ礁シンポジウム (口頭発表)
小林喬子	低密度化とその維持にあたっての課題と試み：大台ヶ原の事例	日本哺乳類学会 2016 年度大会 (自由集会)
小出可能	モニタリングサイト 1000 のとりまとめ成果から分かったこと Vol.2 —高山帯調査を通じて見えてきた気候変動の一端—	第 63 回日本生態学会大会 (自由集会)
苅部治紀・森 英章	固有属種アニジマイナゴの生態と系統保存技術の開発	第 63 回日本生態学会大会 (口頭発表)
諸澤崇裕・萩原富司・熊谷正裕	霞ヶ浦流入河川および水路におけるタナゴ亜科魚類の生息状況と保全活動	2016 年度日本魚類学会年會シンポジウム (口頭発表)
村山恒也・井上 隆・宮川 浩	東日本大震災における沿岸生態系の変化状況～生態系監視調査の結果から～	第 63 回日本生態学会大会 (自由集会)
中田靖彦・中村大輔・小林喬子・川本朋慶・岩城 光・荒木良太	カメラトラップ法によるニホンジカの利用強度の時空間変化の把握と捕獲計画の立案	日本哺乳類学会 2016 年度大会 (ポスター発表)
土方直哉・平岡恵美子・藤田祐樹・山口典之・内田 聖・時田賢一・尾上和久・片岡宣彦・須川 恒・山根みどり・馬田勝義・溝口文男・伊関文隆・植田睦之・高木憲太郎・岡部海都・中山文仁・勝野史雄・木戸光代・大谷 蘭・堺 勝重・丸山健司・水村春香・土光智子・陳 文波・樋口広芳	西日本で越冬するカモ類の渡り	日本鳥学会 2016 年度大会 (ポスター発表)
<b>Niwa, S.</b> , Toyota, A.	Exploring the potential of ground-dwelling beetle species for detection of climatic warming effects with data from a nationwide long-term monitoring survey in Japanese forests	XVII International Colloquium on Soil Zoology (口頭発表)
佐伯いく代・丹羽 慈・長田典之・兵藤不二夫・太田民久・大石善隆・日浦 勉	木登りカタツムリが木に登らないとどうなるのか？	第 63 回日本生態学会大会 (口頭発表)

源六孝典・小野田雄介・ <b>丹羽 慈</b> ・饗庭正寛・黒川紘子・ 北山兼弘	森林生態系の栄養塩動態における火山灰加入の影響	第 63 回日本生態学会大会（ポ スター発表）
<b>丹羽 慈</b>	北海道の落葉広葉樹林における地表徘徊性甲虫類の 活動性と気象要因の関係	第 63 回日本生態学会大会（ポ スター発表）
佐伯いく代・ <b>丹羽 慈</b> ・ 長田典之・兵藤不二夫・ 太田民久・大石善隆・日浦 勉	野外操作実験で解き明かす「樹上性」の適応的意義 ～木登リカタツムリサッポロマイマイを例として	日本貝類学会平成 28 年度大会 （ポスター発表）
井上浩輔・ <b>丹羽 慈</b> ・池田紘士・ 南谷幸雄・三浦季子・角田智詞・ 金子信博	土壌動物群集と窒素無機化速度の関係	日本土壌動物学会第 39 回大会 （ポスター発表）
<b>丹羽 慈</b>	気温変動に対する地表徘徊性甲虫類の活動性の応答	日本土壌動物学会第 39 回大会 （ポスター発表）
Inouye, K., Ikeda, H., <b>Niwa, S.</b> , Minamiya, Y., Tsunoda, T., Miura, T., Kaneko, N.	Soil foodweb structure as an indicator of nitrogen use efficiency in conservation agriculture	XVII International Colloquium on Soil Zoology （ポスター発表）
辻井聖武・尾崎真澄・ <b>高橋洋生</b> ・ 長谷川雅美	千葉県印旛沼水系におけるカミツキガメの 繁殖開始年齢と成長	日本爬虫両棲類学会第 55 回大会 （ポスター発表）
<b>高橋洋生</b> ・西堀智子・谷口真理・ 三根佳納子・亀崎直樹・ 加賀山翔一・長谷川雅美・ 黛 絵美・立田理一郎	古くて新しいアカミミガメ対策	日本爬虫両棲類学会第 55 回大会 （ポスター発表）
安西 航・ <b>高橋洋生</b> ・ <b>戸田光彦</b> ・ 遠藤秀紀	小笠原諸島の外来性グリーンアノールにおける 集団間形態差とその生態学的要因の検討	第 63 回日本生態学会大会 （ポスター発表）
<b>滝口正明</b>	特定鳥獣保護・管理計画作成のためのガイドライン （ニホンザル編）	第 32 回日本霊長類学会大会 （自由集会）
<b>滝口正明</b>	指定管理鳥獣捕獲等事業制度および 認定鳥獣捕獲等事業者制度について	第 32 回日本霊長類学会大会 （自由集会）
戸田 守・ <b>戸田光彦</b> ・ <b>高橋洋生</b>	ミヤコカナヘビの体長組成と成長	日本爬虫両棲類学会第 55 回大会 （口頭発表）
<b>戸田光彦</b> ・ <b>高橋洋生</b> ・秋田耕佑	小笠原における固有昆虫保全のための外来種対策	日本昆虫学会第 76 回大会・ 第 60 回日本応用動物昆虫学 大会合同大会（口頭発表）

書籍 (2016年)

<b>著者名</b> <small>太字は当センター職員を示す</small>	<b>タイトル</b>	<b>著作名</b>
<b>石塚 新</b>	大雪山におけるチョウ類モニタリング	昆虫と自然
<b>諸澤崇裕</b>	ゼニタナゴ	茨城県版レッドデータブック <動物編>
<b>諸澤崇裕</b>	タナゴ	茨城県版レッドデータブック <動物編>
<b>諸澤崇裕</b>	アカヒレタビラ	茨城県版レッドデータブック <動物編>
<b>諸澤崇裕</b>	ヤリタナゴ	茨城県版レッドデータブック <動物編>
加納光樹・増子勝男・稲葉 修・ <b>諸澤崇裕</b>	ニホンウナギ	茨城県版レッドデータブック <動物編>
<b>諸澤崇裕</b> ・加納光樹・増子勝男・ 稲葉 修	ミヤコタナゴ	茨城県版レッドデータブック <動物編>